

日本広報学会 2008-2009 年度

感性報道価値研究会 研究活動報告書

2010年7月20日

感性報道価値研究会

はじめに

本報告書は、日本広報学会 2008 年度・2009 年度「テーマ別研究（自由研究）」＜感性報道価値研究会＞の研究内容を取りまとめたものである。

研究会の名称に＜感性報道＞（造語）と命名した意図は、客観報道の対概念として設定したかったためである。報道には様々な領域が存在し、また客観報道それ自体は報道そのものが持つアプリアリな問題でもあるため、もちろん、報道に客観性が不要だと言うつもりは毛頭ない。

しかし、地球環境問題、特に環境報道においては、経済報道以上に、数値的根拠、科学環境的裏付けを必要とする客観報道が求められており、それが故に科学的知見や環境に知識のない読者や視聴者には理解できない報道となってしまう。理解できない報道内容は、読者や視聴者にとっては身近な生活から距離を生み、環境報道それ自体を見聞きすることも避け、さらには嫌悪感すら起きかねない状況を生みつつある。今後、地球温暖化問題や生物多様性問題、水環境問題など、サステナビリティ（持続可能性）に係わる報道がますます必要とされる一方で、その情報が受容されず行動が喚起されないとしたら大変憂慮すべき事態と言わざるを得ない。

本来、言葉や事実関係の理解には、“行間”を読む力や“間（ま）”を感じ取る力などが不可欠である。数年前から“KY”（空気が読めない）という言葉が話題となっているが、“場”や“文脈”は本来、コミュニケーションを行う上での前提でもあり、前提の共有ができなければコミュニケーションは成立しない。実際のコミュニケーションの場面で内容理解に必要とさせる前提（共通項）は、知見としての知識や事実ではなく、実は人間としての生物としての感覚的な要素＝感性（五感：視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚）である。一定程度の専門性がなければ理解できない環境報道の内容を理解させる要素としてこの＜五感＞情報が何らかの形で客観報道を補う手立てになり得るのではないか。

そんな問題意識から、当研究会では客観報道に相対する概念として＜感性報道＞という言葉を用いている。今回、新聞・雑誌、テレビ・ラジオ、Web等のメディア関係者に対し、＜五感＞の観点から報道の意味や在り方についてお話をお伺いし、大変貴重な示唆を得ることができた。2カ年に及ぶ＜感性報道価値研究会＞には、学際的な研究者が集い、現場感覚を重視しながら、数多くの議論と情報収集を重ねた。本報告書は、メディア関係者の生の声を中心にその一端をまとめたものに過ぎないが、当研究会の無謀とも思われるテーマに研究助成を行った日本広報学会、また同様にインタビューに応じていただいたメディア関係者の方々に、この場をお借りしてお礼申し上げます。

2008－2009 年度＜感性報道価値研究会＞研究主査 江間直美

目次

はじめに	1
I. 研究会開催概要	3
I-1 研究目的	4
I-2 研究会メンバー	6
I-3 研究会開催概要	7
I-4 研究会メンバー全体討議（2008年9月15日開催）メモ	13
I-5 関連資料	17
I-6 研究成果（サマリー）	26
II. 研究発表概要	27
II-1 第14回（2008年度）研究発表大会発表レジュメ	28
II-2 第14回（2008年度）研究発表大会予稿集	36
II-3 第15回（2009年度）研究発表大会発表レジュメ	41
II-4 第15回（2009年度）研究発表大会予稿集	51
III. 研究論考	59
III-1 論考：江間直美「環境報道・環境コミュニケーションと五感」	60
III-2 論考：近藤隆二郎「五感と身体から考える伝達の仕組み」	84
III-3 論考：関谷直也「クオリア・コミュニケーションとクオリア・マーケティング」	101
IV. メディアインタビュー概要	112
IV-1 インタビュー概要	113
IV-2 インタビュー内容	116
ヒアリング（1）新聞・全国紙・客員編集委員/大学教授	116
ヒアリング（2）新聞・全国紙・科学環境部 記者	132
ヒアリング（3）環境映像プロデューサー（代表取締役）	147
ヒアリング（4）環境雑誌プロデューサー（代表取締役）	168
ヒアリング（5）FMラジオ番組制作プロデューサー（代表取締役）	185
ヒアリング（6）新聞・点字新聞・記者	203
ヒアリング（7）テレビ局・解説主幹	220
ヒアリング（8）環境情報ポータルサイト プロデューサー	237
収集参考文献（市販書籍）	252
おわりに	268

I . 研究会開催概要

1-1 研究目的

1997年の気候変動枠組条約第3回締約国会議（COP3：地球温暖化防止京都会議）以降、地球環境問題に係わるメディア報道が興隆を極めている。ただこれまで行政・自治体・企業のみならず一般生活者の側においても、議定書達成に向け努力が重ねられているものの、特に民生部門における温暖化効果ガスの排出量は増える一方である。

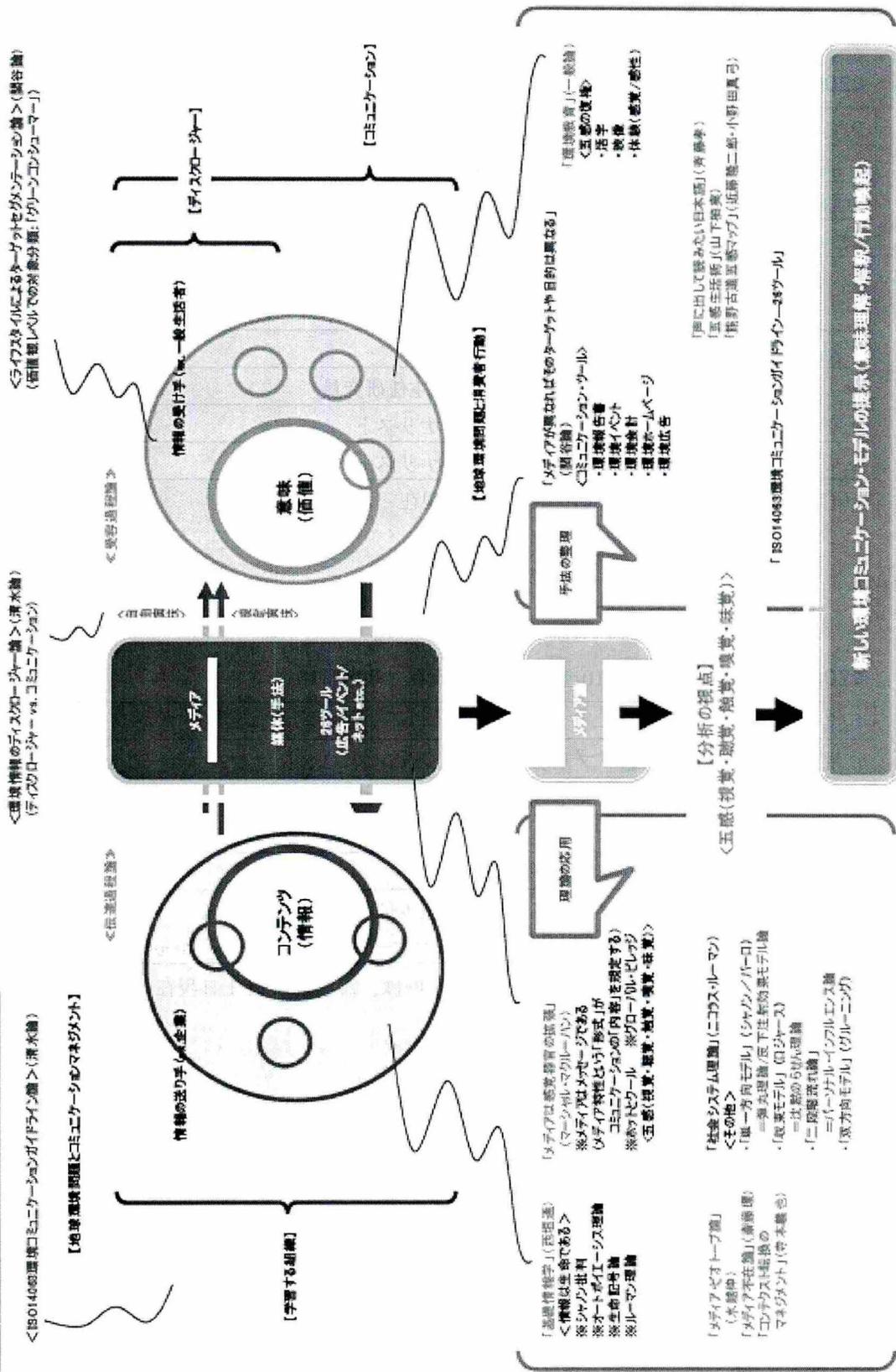
こうした状況を鑑みると、一般生活者の行動に影響を与えるメディア報道のあり方が重要となる。確かにこれまで環境報道は数多く展開されてきたが、一般生活者からは報道内容が理解できない、との声も多数聞く。また、どのような情報をどのような媒体を通じて提供していくことが、一般生活者の理解を促進させるのか、ということについては、情報伝達のチャネル調査はあるものの、メディア特性も含めたメディアのあり方の検証はまだ行われてきていない。

本研究においては、メディアの地球環境問題に係わる一般生活者への情報提供のあり方について、事実報道から解説報道へと変化するメディア動向の中で、これまで広報領域ではあまり議論されてこなかった、脳科学や認知科学、特に＜感性（五感）＞の視点から、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、インターネットといった媒体そのものとその特性を検証し直し、新ためてメディア報道のあるべき姿を捉えなおすとともに、そこから得られた知見をもとに、五感に基づく環境コミュニケーションの未来像を描きだすことを目的とした。

《メディア戦略視点からのアプローチ研究》

＜課題設定＞
 現状情報がマーケティングミドルデータに到達しない、または方向性ミスマッチが促進されているのは、そもそも「メディア特性」の分析・検討が重視されているからではないのか。

＜研究の意義＞
 「メディアとは何か」の視点から、あらためて、現状コミュニケーションのあり方について、問いを深めたい。



1-2 研究会メンバー

<2008 年度> 所属：2009 年 3 月 31 日現在 ※敬称略

氏名	所属
江間 直美★	(株)電通パブリックリレーションズ CSRコミュニケーション部 部長
近藤 隆二郎	滋賀県立大学 環境科学部 環境政策・計画学科 准教授
関谷 直也	東洋大学 社会学部 メディアコミュニケーション学科 専任講師
横山 稔	静岡文化芸術大学 デザイン学部 空間造形学科 准教授 (文化女子大学 造形学部 住環境学科 教授)
岸尾 祐二	聖心女子学院初等科 教諭
藺 巳晴	(株)ノルド社会環境研究所 主任研究員
山下 柚実	五感生活研究所、ジャーナリスト
三橋 俊明	五感生活研究所、ジャーナリスト

★研究主査 () 内は、2010 年 4 月 1 日現在

<2009 年度> 所属：2010 年 3 月 31 日現在 ※敬称略

氏名	所属
江間 直美★	(株)電通パブリックリレーションズ CSRコミュニケーション部 部長
近藤 隆二郎	滋賀県立大学 環境科学部 環境政策・計画学科 准教授
関谷 直也	東洋大学 社会学部 メディアコミュニケーション学科 専任講師 (准教授)
相原 正道※	日本トップリーグ連携機構
小久保 啓※	(株)オズマピーアール 営業本部 PR8部 AE (営業推進室 環境コミュニケーション専門チーム「eco+(エコプリユス)」)

★研究主査 ※オブザーバー参加 () 内は、2010 年 4 月 1 日現在

1-3 研究会開催概要

<2008 年度>

研究会名称	感性価値報道研究会
主査名	江間直美
研究会開催概要	
第1回	
開催日時	2008年5月30日(金) 18:30~20:30 (於: 電通PR)
参加者	江間直美、近藤隆二郎、藪巳晴
議題及び検討内容(概要)	①感性報道価値研究会の研究計画概要について(江間) ②研究の進め方と役割分担、年次大会での発表方法について(江間) ③質疑、討議(全員)、④次回研究会の開催日の検討など
第2回	
開催日時	2008年6月23日(月) 18:30~20:30 (於: 電通PR)
参加者	江間直美、山下柚実、三橋俊明、関谷直也、藪巳晴
議題及び検討内容(概要)	①感性報道価値研究会の研究計画概要について(江間) ②今後の研究の進め方と役割分担、文献収集について(江間) ③質疑、討議(全員)、④次回研究会の開催日の検討など
第3回	
開催日時	2008年7月21日(月・祝) 17:00~19:00 (於: 電通PR)
参加者	江間直美、関谷直也
議題及び検討内容(概要)	①感性報道/感性報道価値関連の文献収集と整理方法について(江間) ②新聞報道その他ケーススタディの収集について(江間) ③質疑応答(全員)、④次回研究会の開催日の検討など
第4回(第1回全体会)	
開催日時	2008年9月15日(月・祝) 13:00~17:30 (於: 電通PR)
参加者	江間直美、近藤隆二郎、横山稔、山下柚実、三橋俊明、藪巳晴
議題及び検討内容(概要)	①五感コミュニケーション(感性報道)についての事例発表(全員) ②質疑応答(全員)、③次回研究会の開催日の検討など
中間発表	
開催日時	2008年10月26日(日) (於: 北海道大学学術交流会館)
参加者	江間直美
議題及び検討内容(概要)	第15回研究発表大会で中間発表 ※主催: 日本広報学会
第5回	
開催日時	2008年10月28日(火) 18:30~20:30 (於: 電通PR)
参加者	江間直美、藪巳晴
議題及び検討内容(概要)	①メディア関係者ヒアリング実施の内容について(江間) (論点整理と役割分担など) ②質疑応答(全員)、③次回研究会の開催日の検討など

第 6 回	
開催日時	2008年11月17日(月) 18:30~20:30 (於:電通PR)
参加者	江間直美、関谷直也、菌巳晴
議題及び検討内容(概要)	①メディアヒアリングの実施概要について(江間) (論点整理と役割分担など) ②次年度各種研究助成応募について(江間) ②質疑応答(全員)、③次回研究会の開催日の検討など
第 7 回 (第 2 回全体会)	
開催日時	2008年12月16日(火) 18:30~20:30 (於:電通PR)
参加者	江間直美、関谷直也、近藤隆二郎、岸尾祐二、菌巳晴
議題及び検討内容(概要)	①メディアヒアリングの実施概要について(江間) ②初年度報告書の作成について(江間) ③質疑応答(全員)、③次回研究会の開催日の検討など
第 8 回	
開催日時	2009年2月3日(火) 18:30~20:30 (於:電通PR)
参加者	江間直美、関谷直也
議題及び検討内容(概要)	①メディアヒアリングの実施概要について(江間) ②初年度報告書の作成について(江間) ③次年度各種研究助成応募について(江間) ④質疑応答(全員)、⑤次回研究会の開催日の検討など
メディア関係者インタビュー①	
開催日時	2009年3月9日(月) 15:00~16:00 (於:早稲田大学 原研究室)
参加者	江間直美、関谷直也
議題及び検討内容(概要)	インタビュー対象⇒ 全国紙・客員編集委員/大学教授 原氏
メディア関係者インタビュー②	
開催日時	2009年3月17日(火) 11:00~12:00 (於:毎日新聞社)
参加者	関谷直也
議題及び検討内容(概要)	インタビュー対象⇒ 全国紙・科学環境部記者 足立氏
メディア関係者インタビュー③	
開催日時	2009年3月17日(火) 14:00~15:00 (於:Green TV Japan 本社)
参加者	関谷直也
議題及び検討内容(概要)	インタビュー対象⇒ 環境映像プロデューサー 水野氏
メディア関係者インタビュー④	
開催日時	2009年3月30日(月) 13:30~14:30 (於:エスプレ本社)
参加者	江間直美、関谷直也
議題及び検討内容(概要)	インタビュー対象⇒ 環境雑誌プロデューサー 中村氏

<2009 年度>

研究テーマ	感性価値報道研究会
主査名	江間直美
研究会開催概要	
<事前研究会（第1回の予備会合）>	
開催日時	2009年4月5日（日）13：00～17：00（於：東洋大学）
参加者	江間直美、関谷直也、近藤隆二郎
議題及び検討内容	①感性報道価値研究会の2年次研究計画概要について（江間） ②今後の研究の進め方と役割分担（江間） ③次回研究会の開催日の検討など
情報収集①	
開催日時	2009年5月22日（金）13：00～16：30（於：日本マーケティング協会）
参加者	江間直美
議題及び検討内容	①環境マーケティングの最新動向・事例を収集 ⇒ 環境行動を喚起する訴求ポイントの整理 ※日本マーケティング協会のフォーラム参加
メディア関係者インタビュー⑤	
開催日時	2009年6月19日（金）13：00～16：30（於：世田谷区奥沢）
参加者	江間直美、関谷直也
議題及び検討内容	①インタビュー対象⇒ラジオ制作会社シャララカンパニー代表・中曽根氏 ②今後のメディア関係者へのインタビュー人選
第1回研究会	
開催日時	2009年6月20日（土）13：00～16：30（於：東洋大学）
参加者	江間直美、関谷直也、近藤隆二郎
議題及び検討内容	①文献整理の状況について説明（江間） ②事例収集の方法とマーケティング領域との接点について議論（全員） ③次回研究会の開催日の検討など
第2回研究会	
開催日時	2009年7月26日（日）13：00～17：00（於：東洋大学）
参加者	江間直美、関谷直也、近藤隆二郎、相原正道（オブザーバー参加）
議題及び検討内容	①年度末報告書の構成内容について（江間） ②執筆内容と役割分担、今後の研究の進め方について議論（全員） ③次回研究会の開催日の検討など
メディア関係者インタビュー⑥	
開催日時	2009年8月31日（月）14：00～15：30（於：毎日新聞社）
参加者	江間直美、関谷直也、相原正道（オブザーバー参加）
議題及び検討内容	①インタビュー対象⇒毎日点字新聞記者：濱井氏 ②今後のメディア関係者へのインタビュー人選

第3回研究会	
開催日時	2009年9月5日(土) 13:00~17:00 (於:東洋大学)
参加者	関谷直也、近藤隆二郎、相原正道 (オブザーバー参加)
議題及び検討内容	①2008年度・2009年度のインタビュー結果の整理 ②インタビュー内容と感性報道との関係について議論 (全員) ③質疑応答 (全員)、④次回研究会の開催日の検討など
情報収集②	
開催日時	2009年9月18日(金) 12:00~13:00 (於:港区浜松町)
参加者	江間直美
議題及び検討内容	環境教育の最新動向・事例 (五感にもどつく自然体験学習) を収集 ⇒ 環境行動を喚起する訴求ポイントの整理 ※日本フィランソロピー協会のセミナー参加
情報収集③	
開催日時	2009年9月19日(土) 12:00~13:00 (於:渋谷区外苑前)
参加者	江間直美
議題及び検討内容	①暗闇体験イベント「ダイアログ・イン・ザ・ダーク」参加 ②イベント参加者へのヒアリング実施。情報をメンバーに回付 ※視覚を閉ざしその他4感を体験するイベント
情報収集④	
開催日時	2009年10月9日(金) 12:00~13:00 (於:港区赤坂区民センター)
参加者	江間直美
議題及び検討内容	暗闇トークイベント:「ダイアログ with 茂木健一郎」参加 ⇒ 五感を巡る視覚障害者との対談。視覚なきコミュニケーションのあり方などについての情報を収集。情報をメンバーに回付 ※ダイアログ・イン・ザ・ダーク主催
情報収集⑤	
開催日時	2009年11月1日(日) 1:00~13:00 (於:日本科学未来館)
参加者	江間直美
議題及び検討内容	講演:脳科学の最新動向を収集 ⇒ 分かった脳、まだ分からない脳について。情報をメンバーに回付 ※文部科学省特定領域研究「統合脳」5領域シンポジウムに参加
情報収集⑥	
開催日時	2009年11月6日(金) 16:00~17:30 (於:玉川大学)
参加者	江間直美
議題及び検討内容	講演:テレビマンからみた脳科学 演者:室山哲也 (NHK解説委員) ※玉川大学グローバル COE プログラム第7回特別講義

情報収集⑦	
開催日時	2009年11月13日(金) 15:00~18:40 (於:日本マーケティング協会)
参加者	江間直美
議題及び検討内容	シンポ:脳科学とマーケティングの対話 ~ 幅広い分野で進む実用化と広がる可能性 ~ ※主催:日本マーケティング協会
中間発表	
開催日時	2009年11月29日(日) (於:淑徳大学埼玉みずほ台キャンパス)
参加者	江間直美、関谷直也、小久保啓 (オブザーバー参加)
議題及び検討内容	第15回研究発表大会で中間発表 ※主催:日本広報学会
第4回研究会	
開催日時	2009年12月27日(日) 10:00~17:00 (於:銀座ルノアール銀座店)
参加者	江間直美、関谷直也、近藤隆二郎、小久保啓 (オブザーバー参加)
議題及び検討内容	各種事例について議論
情報収集⑧	
開催日時	2010年2月5日(金) 15:30~17:00 (於:電通ホール)
参加者	江間直美
議題及び検討内容	電通「ラジオフォーラム2010」参加 ⇒ ラジオ番組、ラジオCMと五感との関係を整理 ※主催:電通ラジオ局
第5回研究会	
開催日時	2010年3月1日(月) 13:00~17:30 (於:東洋大学)
参加者	江間直美、関谷直也、近藤隆二郎、相原正道 (オブザーバー参加)
議題及び検討内容	各種事例について議論
メディア関係者インタビュー⑦	
開催日時	2010年3月12日(金) 15:00~16:30 (於:NHK放送センター)
参加者	江間直美、関谷直也
議題及び検討内容	①インタビュー対象⇒NHK解説委員・室山氏 ②今後のメディア関係者へのインタビュー人選
メディア関係者インタビュー⑧	
開催日時	2010年3月31日(水) 11:30~13:00 (於:NTTレゾネント)
参加者	江間直美、関谷直也
議題及び検討内容	①インタビュー対象⇒ポータルサイト環境gooプロデューサー・岩口氏 ②インタビュー内容の整理方法について議論
第6回研究会	
開催日時	2010年4月3日(土) 13:00~17:30 (於:東洋大学)
参加者	江間直美、関谷直也、近藤隆二郎
議題及び検討内容	①インタビュー内容の整理方法について議論 ②研究会報告書(2010年6月末提出)の編集内容について議論

情報収集⑨	
開催日時	2010年4月4日(日) 10:30~12:00 (於: シネスイッチ銀座)
参加者	江間直美
議題及び検討内容	事例収集: 視覚障害者用音声ガイド付き映画「時をかける少女」の視聴
第7回研究会	
開催日時	2010年5月1日(土) 13:00~17:30 (於: 東洋大学)
参加者	江間直美、関谷直也、近藤隆二郎
議題及び検討内容	①インタビュー内容の整理方法について議論 ②研究会報告書(2010年6月末提出)の編集内容について議論 ③原稿執筆の分担について検討
情報収集⑩	
開催日時	2010年5月2日(日) 12:00~13:00 (於: 渋谷区外苑前)
参加者	近藤隆二郎
議題及び検討内容	暗闇体験イベント「ダイアログ・イン・ザ・ダーク」参加 ※視覚を閉ざしその他4感を体験するイベント
第8回研究会(予定)	
開催日時	2010年6月26日(土) 13:00~17:30 (於: 東洋大学)
参加者	江間直美、関谷直也、近藤隆二郎
議題及び検討内容	①研究会報告書(2010年6月末提出)の原稿内容の最終チェック ②研究会の今後の自主活動の在り方について議論